



イラク復興支援群活動報告

17.12.7

イラク復興支援群

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

全 般 (12月7日)

◎ サマーワ主力

- 人員・武器・装具、異状なし
- 警備態勢：[REDACTED]
- 人道復興支援関連
 - ◆ 医療
 - 外務省等との調整
 - ◆ 学校等の公共施設の復旧・整備
 - ・ 学校の改修：
 - アル・クワキブ小学校の施工状況確認（ワルカ）
 - 別紙「アル・クワキブ小学校施工状況確認」
 - 10カ所（サマーワ×7、ワルカ×1、ヒラール、ヒドル）での役務作業
 - ・ 道路の改修：
 - 2カ所（ルメイサ、スウェイル）での役務作業
 - ・ PHCの改修：
 - 14カ所（サマーワ×5、ヒドル×2、マジット×1、ダラージ、ルメイサ×2、ワルカ×3）での役務作業
 - ・ 給水関連施設の改修：
 - 3カ所（サマーワ、ワルカ、ルメイサ）での役務作業
 - ・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：
 - 3カ所（サマーワ×3）での役務作業
 - ・ 清掃事業関連施設の改修：
 - 1カ所（サマーワ）での役務作業
 - ・ 燃料関連施設の改修：
 - 1カ所（サマーワ）での役務作業

全 般 (12月7日)

- 宿营地関連施設の整備
 - ・ 宿营地敷水
 - ・ ゴミ回収
 - ・ 尿尿汲み取り
 - ・ 冷凍コンテナメンテナンス
 - ・ コンクリートブロック、土嚢作成
 - ・ 側溝整備
 - ・ 警衛所耐弾化工事
 - ・ 出島地区施設再配置作業
- 12月7日現在の雇用人員
計903名（累計：359,686名） 細部別表「雇用者」参照
- その他（特記事項）
 - ・ 対外発信関連：12月号原稿調整（宿营地）
 - ・ 供与RO浄水機による配水なし（RO付帯設備施工のため当分の間、配水休止）
 - ・ 12月6日まで計約50,359t（約11,168,663人分）配水（4.5ℓ/人・日換算）
- ◎ クウェート分遣班
 - ・ 弾薬輸送
 - ・ LAV空輸
 - ・ コマンドセル会議
 - ・ ACSA支払
 - ・ 糧食積載点検
 - ・ コンテナ向け積載
- ◎ バクダッドLO
 - ・ 情報収集及び情報資料の送付等

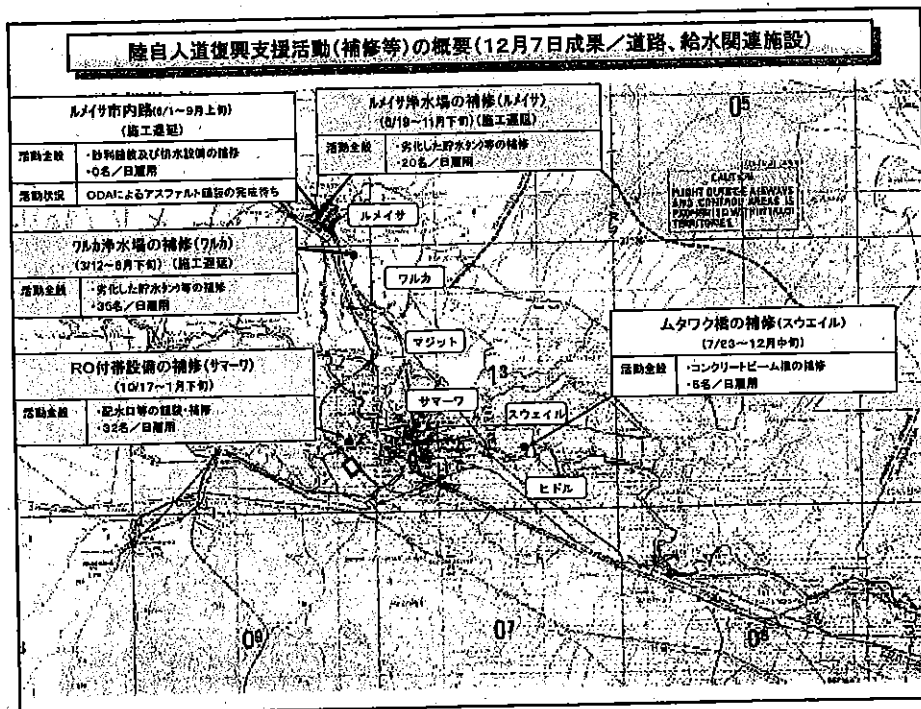
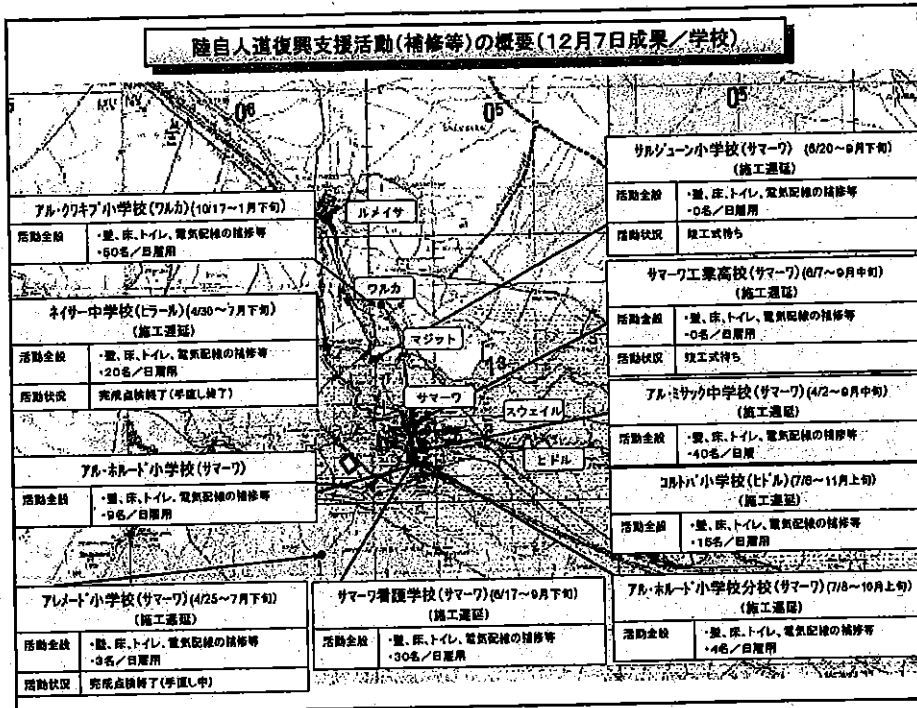
全 般 (12月7日)

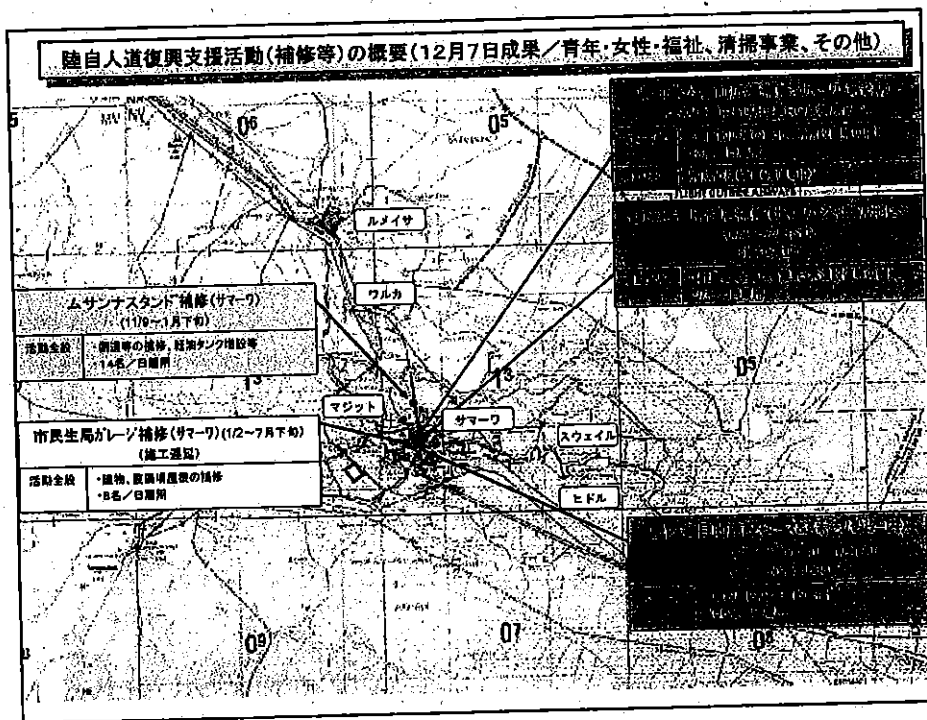
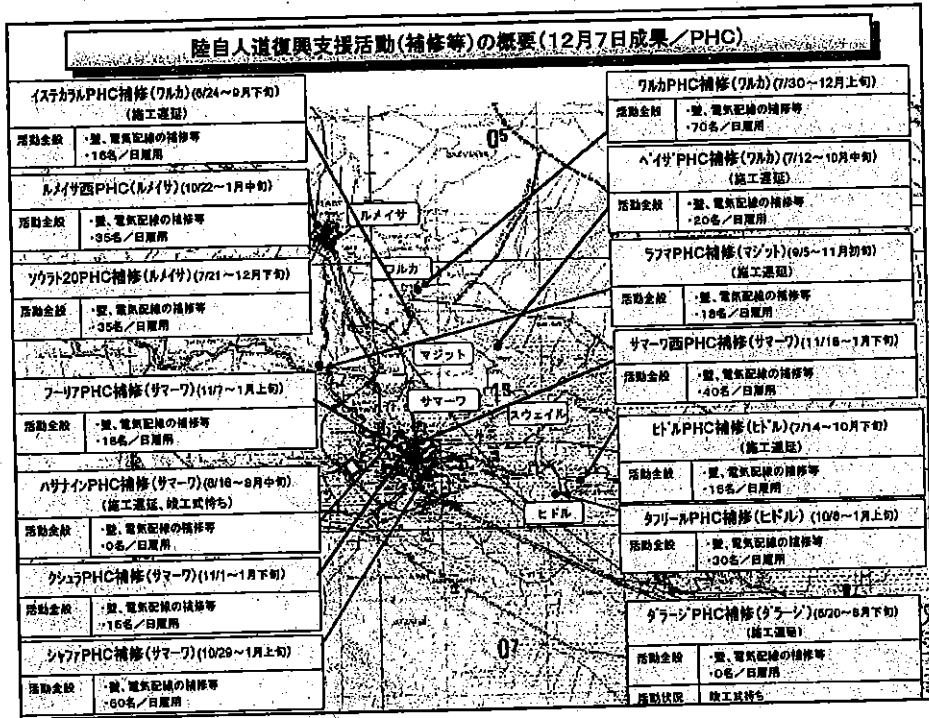
- ◎ バスラLO
 - ・情報要求対応及び定例情報収集
 - ・定例会議への参加
 - ・空路輸送調整
- ◎ スミッティLO
 - ・情報要求対応等
 - ・各種業務調整等
 - ・各種ミーティング等
- ◎ クウェート大使館LO
 - ・連絡調整
 - ・情報収集

別表

雇 用 者 (12月7日)

区分	人員数(名)	小計(名)	合計(名)	
宿営地外役務	医療	373	723	903
	学校修復	171		
	道路補修	5		
	青年・スポーツ関連	65		
	清掃事業関連	8		
	給水関連	87		
	燃料	14		
宿営地内役務	通訳	61	180	
	警備	40		
	給仕	1		
	ゴミ処理	3		
	し尿処理	3		
	清掃	3		
	エンジニア	2		
	タクシー	26		
	床屋	2		
	舟護士	2		
	アドバイザー	1		
	電気工等	3		
	調査員	8		
耐弾性強化施設補修	20			
コンテナメンテナンス	5			





上段: 増人員数 下段: 減人員数		人員現況																				(備考) 総員の増加及び 増減人員の状況
区分	増減人員	サマーワ		クウェート		バクダット		バスラ		キャンプ・スリヤ		ドバイ		他 外		国内						
		増減人員	増減人員	増減人員	増減人員	増減人員	増減人員	増減人員	増減人員	増減人員	増減人員	増減人員	増減人員	増減人員	増減人員	増減人員	増減人員	増減人員				
8次実施時	481	481	0	481	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	481	-	-	-	
8次運用 開始時	10	10	0	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	
4次実施時	109	74	1	74	28	2	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	109	-	-	-	
合 計	600	565	1	565	28	2	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	600	-	-	-	

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む
 本日のTV電話使用者数:0名、FOMA使用者数:31名(第8次群TV電話合計:54名、FOMA合計:984名)

		装 備 の 現 況 (車 両 等)															計				
	車 両	小	中	救	軽	高	W	業	施	水	燃	冷	セ	大	特	浄		重	溶	修	
		型	型	急	甲	機	A	4	設	タンク車	料タンク	凍車	ミトシ	型	大	水セツト	トラック	接車	理車		
IQ	サマーワ	13	10	2	48	19	6	1	22	7	5	4	4	29	9	4	2	1	2	188	
	シャイバ																				
	バスラ					1															1
	タリル																				
	バクダット																				
	計	13	10	2	48	20	6	1	22	7	5	4	4	29	9	4	2	1	2		189
KW	キャンプVA	1			4	1	1	2	1					8							18
	キャンプアリアン																				
	計	1			4	1	1	2	1					8							18
総 計	14	10	2	52	21	7	2	2	22	7	5	4	4	37	9	4	2	1	2		207

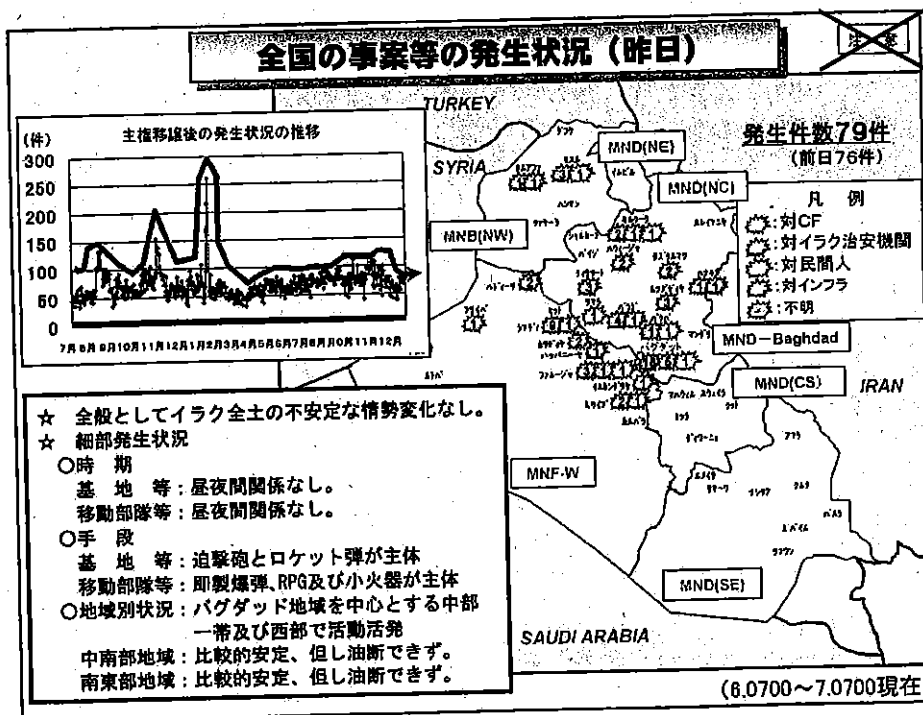
装備の現況（武器）

		武器						
		拳銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	信号拳銃
I Q	サマーワ							
	シャイバ							
	バスラ							
	タリル							
	バクダット							
	計							
K W	キャンブVA							
	キャンブアリフジャン							
	計							
総計								

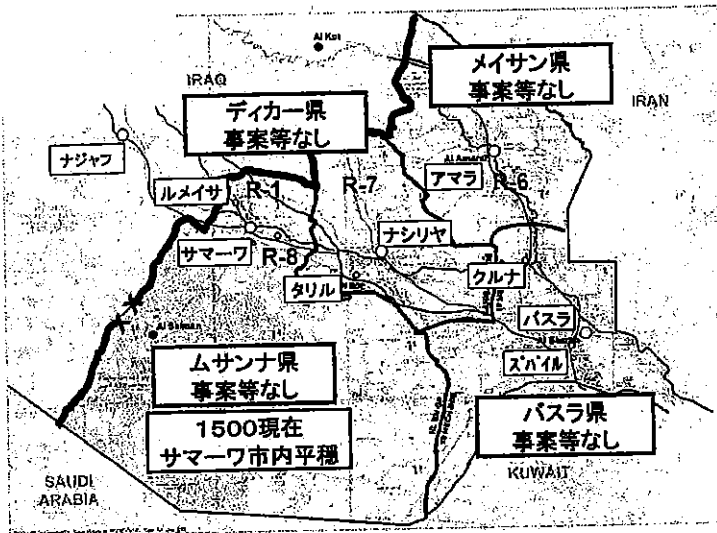
装備品等の可動・不可動の状況①

項目	総数	可動	不可動	未使用	不可動の内容	備考
車両	207	204	2	1	HMV×1 ブレーキパイプ亀裂 冷凍冷蔵庫×1 エンジン不良	未使用:WAPO×1(CV) 部品待×2
酷暑用冷凍冷蔵庫	8	5	0	3		
コンテナスキャナー	2	1	1	0	定期整備×1	後送中×1(クウェート)
エアコン	657	634	0	23		
発動発電機(6kw)	96	38	21	38	レギュレータ等不良×17 オイルセンサー不良×4	部品待×21
発動発電機(25kw)	67	44	12	11	ガバナ等不良×10 回転ケーブル不良×1 ノズル不良×1	部品待×12
発動発電機(60kw)	59	47	2	10	燃料噴射ポンプ×2	部品待×2
発動発電機(180kw)	17	15	1	1	ガスケット損傷×1	部品待×1
遠距離大量送水システム	5	4	1	0	定期整備×1	後送中×1(オランダ)

装備品等の可動・不可動の状況②							
項目		総数	可動	不可動	未使用	不可動の内容	備考
浄水セット	官品	4	3	1	0	故障診断中×1	部品見積中×1
	民生	2	2	0	0		
遠距離監視装置	昼用						
	夜用						
近距離監視装置							
近距離暗視装置(V7)							
微光暗視装置(V3)							
空中監視装置							



事案等の発生状況 (6日0700~7日0700)



サマーワにおけるサドル派民兵の動向一

【選挙期間中、サドル派民兵の計画された攻撃なし】

- サドル派事務所は、サドル派の選挙のチャンスを損なうとして、選挙前及び期間中に サドル派民兵が計画攻撃を行なうことを望まないと表明。
- しかしながら、サドル派民兵のメンバーは自分が武器を持っているならば、多国籍軍の徒歩パトロールに対する攻撃を実施できると通知されている。

○現地のコメント

- サドル派民兵は4人組の徒歩パトロール等のソフトターゲットに対し機会があれば攻撃する可能性あり
- サドル派事務所がサドル派民兵に対し計画された攻撃をしないよう通知したとしても、以前の報告は、地域の指導部がサドル派民兵の活動を完全に統制し切っていないことを示唆しており、サドル派民兵の一部はサドル派事務所の要求を無視する可能性がある。

【サマーワの新たなサドル派民兵中隊】

- ガラウイ師 (Sheik Mohammed Abd Al Razzaq AL-GHARAWI) とザルガニ師 (Sheik Ghazi AL-ZAGANI) は、12月15日の選挙に関し意見が相違。
- ザルガニ師は、サマーワのサドル派民兵はあらゆる民兵行動を選挙後まで延期するとのサドル師の指示に従うべきであると信じている。
- ガラウイ師は、同意せず速やかに攻撃したいと考えている。同師は「聖戦 (JIHADIA)」という名称の新しい中隊を組織。
 - ・総数は70~90名で、現存するサマーワ地区のサドル派民兵から集めている。
 - ・3コ小隊編成で、1、2小隊は地域のイスラミフィケーション攻撃に、3小隊は多国籍軍への攻撃に任ずる。
 - ・3小隊は閃光音響手榴弾、カチューシャ・ロケット、電気スタン・バトン (electric stun batons) の使用を訓練され、防弾チョッキを交付されているとの情報あり

サマーワにおけるサドル派民兵の動向-2

- サマーワに新たにサドル派民兵の「聖戦」中隊が作られたことは、全国レベルのサドル派組織からの分離というよりもむしろ地域のリーダー達との意見の相違を表している。
- 新たな中隊のリーダーは以前の報告にあったガラウィ師ではなく、ザルガニ師。
- 現地のコメント
 - ガラウィ師は、サマーワのサドル派事務所のリーダーとみられ、発言とは異なり、決断力に乏しい。
 - ザルガニ師は、サマーワのサドル派民兵リーダーとみられ、決断力・実行力に富み、より危険な人物と見ている。
 - 新たな中隊については事実確認はされておらず、編成や企図など細部は不明であるが、潜在的脅威として注意が必要。

<評 価>

- サドル派としては選挙に向け、暴力による反多国籍軍闘争を抑えるため、人事、態勢を交換するなど組織に対する統制を強化しているものと見られる。しかしながら、地方のサドル派民兵メンバーには、多国籍軍に対し暴力的なスタンスを取るべきとの意見が根強いと見られ、サドル派事務所指導部と地方のサドル派民兵との間に摩擦があるものと考えられる。サマーワにおいてもガラウィ師とザルガニ師の間には意見の相違があり、ムサンナ県のサドル派内にも摩擦が存在すると考えられる。
- サマーワにおいてもサドル派指導部がサドル派民兵の活動を完全に統制し切っていないとも考えられることから、サドル派民兵の一部は指導部の要求に従わない可能性がある。その攻撃要領については徒歩パトロール等のソフトターゲットに対する「ヒットエンドラン」方式が、難脱の容易性から夜間に実施される公算が大きいと考えられる。しかしながら、英軍巡警に対する小火器射撃(11月21日)が屋間に行なわれていることから、サドル派支配地域等においては屋間にも攻撃が行なわれる可能性がある。
- 意見の相違から新たに作られたとされる「聖戦」中隊の実態や企図等については、現時点では不明であるが、指導部の統制に従わず、計画・調整された組織的な攻撃を行なう可能性も否定できない。引き続き、サドル派特にサドル派民兵の動向について情報収集する。

イラク全土の全般情勢評価 (12.7)

(11月28日の報告以降変化なし)

区 分	内 容	備 考
全 般	<ul style="list-style-type: none"> ●バグダッド中心に中北・西部において多国籍軍及びイラク治安部隊に対する攻撃継続 ●政治プロセスに関連し、テロ、衝突等が発生する可能性 ●南東部でサドル派が活動を活発化させている可能性 	8/26追加 8/8追加
スンニ派 過激派	<ul style="list-style-type: none"> ●当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安機関・移行政府)を継続(急激な過激化への兆候はなし) ●アンサル・スンナとザルカウィGpが共闘の可能性 ●ザルカウィ関連Gpの活動が活発化 ●シーア・スンニ宗派間対立を企図したテロ発生の可能性 	9/15追加 9/1追加
FRE	●「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける	
国際テロリスト	●暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●民心の掌握(ソフト路線)継続。一方で民兵再構築実施 ●サドル師がSCIRI代表ハキーム師と対談する等、選挙に向けた動きを活発化させている可能性 ●選挙に向け、暴力による反多国籍軍闘争を抑えるため、組織に対する統制を強化する可能性 	11/28追加 11/28追加
特異事項	●宗教行事等多数の人が集まる場を狙ったテロ(パニック誘引)	9/1追加

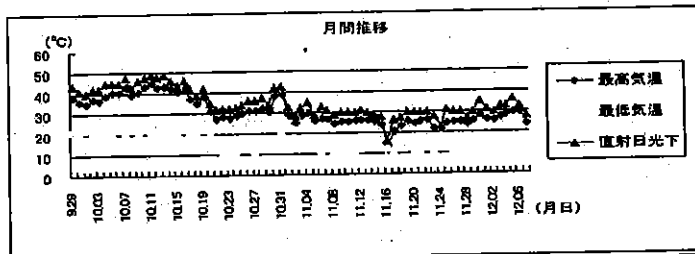
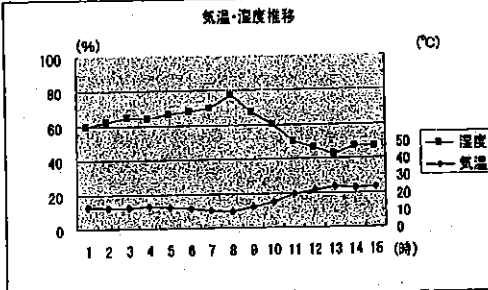
イラク南東部の全般情勢評価 (12.7)		
(11月28日の報告以降変化なし)		
区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●比較的安定→アマラ、バスラで多国籍軍・イラク治安部隊等への攻撃発生 ●メイサン県に存在すると考えられていた即製爆弾攻撃ネットワークがバスラ県に活動を拡大した可能性 ●バスラの不安定な治安情勢が継続する可能性 	8/17追加 9/27追加 9/20追加
スンニ過激派 国際テロリスト FRE	<ul style="list-style-type: none"> ●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続 ●バスラ・メイサン県で即製爆弾増加傾向 	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●サドル師の指示に従わない一部勢力の存在 ●選挙に向け、暴力による反多国籍軍闘争を抑えるため、組織に対する統制を強化する可能性 	8/28追加 11/28追加
MSR-ASR	<ul style="list-style-type: none"> ●即製爆弾・車両爆弾、友軍相撃、ロトスパイク、子供飛出しカージャックがMSRタンバ、ASRサークル上で発生 ●移動中のコンボイに対する車両爆弾の可能性 	7/23追加 7/22追加
タリルAB	●空港への曲射撃及び離発着航空機に対する攻撃に警戒	9/30追加
トレンド	南東部における電波指令式即製爆弾が増加	

ムサンナ県の全般情勢評価 (12.7)		
(12月6日の報告以降変化なし)		
区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●比較的安定、しかしながら油断は出来ず ●知事、前評議会議長の動向等、政治情勢は依然流動的 ●ISFの治安維持能力が向上しつつある。 	9/30修正 10/9追加
スンニ過激派 国際テロリスト	●スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、県外からの流入、他地域での活動のための存在あり	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●サドル師の統制に従わない一部のはねかえりが選挙に向け、暴力的活動を活発化させる可能性 ●サドル派民兵のはねかえりが宿営地に対する曲射攻撃などの反多国籍軍行動をとる可能性 ●サマーワ市街において屋間に英軍巡察に対する小火器射撃が発生 ●ルメイサ市において陸自部隊に対する抗議行動が発生 	12/1追加 11/8追加 11/22追加 12/6追加
部族関連	●宿営地警備等の雇用の増大を企図する一部の部族関係者が存在するとの情報	7/7追加
デモ関連	●ムサンナ県の政治情勢は依然流動的であること、雇用問題燃料不足等により民衆の不満が高まる可能性があることから、デモ発生の可能性は依然存続。	11/1修正

現地の気象情報

報告内容

日の出 : 0644
 日の入 : 1656
 月 齢 : 5.7
 月出没 : (没 7日2310~出 8日1221)
 天 候 : 晴れ
 気 温 : 最高23.8 最低9.8℃
 : 最高28℃(直射日光下)
 湿 度 : 59.9%
 風 速 : NW 1~2m/s



12月8日(木)の活動予定

コール	行動名	時 程	活 動 内 容 等	車 両
J1	部長の行動	0615	J102、J72、J101、J71行動指導	
		0625		
		0630	総隊長報告	
		0650		
		0730	群朝礼	
		0740		
		0745	作戦会議	
		0800		
		0810	J任務経路等について(即指)	
		0820		
		0820	宿营地内動員	
		1115		
		1445	活動命令(兼)仰決	
		1455		
1535	デイリーミーティング			
1603				
1900~	CMIC会議			
J2	実務支援隊長の行動	0715	群朝礼	
		0730		
		0730	群朝礼	
		0740		
		0745	作戦会議	
		0800		
		0800	宿营地内動員	
		1535		
1535	デイリーミーティング			
1605				
1605	群デイリーミーティング			
1825				
1900~	CMIC会議			
J71	部隊支援(ムタワク構造工状況確認)	制示	ムタワク操 縦	LAV(G)×3
			ムタワク操 縦	HMV(G)×1
			宿营地 集	

12月8日(木)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J72	施設支援(ヒドルPHC及びタフリアルPHC施工状況確認)	別示	宿营地 発 ヒドルPHC 着 ヒドルPHC 発 タフリアルPHC 着 タフリアルPHC 発	LAV(G)×3 LAV(G.0)×2 HMV(G)×1
J9	EOD会議参加	別示	宿营地 着 宿营地 発 バスラ 着 バスラ 発 宿营地 着	英軍ヘリ
J101	ルートチェック			
J102	ルートチェック		宿营地 発 ヒドルPHC 着 ヒドルPHC 発 タフリアルPHC 着 タフリアルPHC 発 宿营地 着	
J201	GRF			
J202	GRF(予備)			

12月8日(木)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
S6☆	役務警備員配置	0530~ 1130~ 1930~	宿营地~運河警戒位置~宿营地	
S8	衛生教育(出島地区)	1000~ 1230	イラク人医師に対する超音波診断装置の取扱い教育	大型(Med)×1 マイクロ(HO)×1
S11☆	警備		警備	
S12☆	浄水活動(巡回)	0730~ 1030	大量送水システム点検・運転	LAV(HS)×2
S13a	宿营地内工事・作業	0800~ 1230	宿营地散水	
S13b		0800~ 1530	ゴミ回収	
S13c		0800~ 1530	原原汲み取り	
S13d		0800~ 1530	冷凍コンテナメンテナンス	
S13e		0800~ 1530	側溝整備・土のう撤収作業	
S13f		1300~	コンボイ作業	
S13g		0800~ 1530	警備所耐震化工事	中型(E)×1 道障車(E)×1 大型(E)×1

12月8日(木)の活動予定

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
S14☆	要請点検	0900～ 1030	外橋点検	LAV(G)×2
S16	研支力の行動	0730 0740	群朝礼	
		0740 1530	宿営地内活動	
S16	空中監視活動	8日 0730 ～ 9日 0730	空中監視活動	

12月8日(木)の活動予定

クウェート分遣班	バックアップLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> ○ GFLCC調整 ○ ナビスタ国境通過支援 (糧食等:サマーワ) ○ ナビスタ国境通過支援 (遠送品:サマーワ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整 ・情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応 ・定例情報収集 ・定例会議への出席 ・空路輸送調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報要求対応 ・各種業務調整 ・ミーティング等参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整 ・情報収集

アル・クワキブ小学校施工状況確認

別紙第1



アル・クワキブ小学校の施工状況



施工状況を確認する隊員



施工状況を確認する隊員



アル・クワキブ小学校周辺の子供達

17. 12. 7
イラク復興支援群



- 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [Redacted]
- 群長指導事項

一本日もよく状況を把握しながら、復興支援活動を実施せよ。



- 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [Redacted]
- 群長指導事項

—「任務のみならずS任務(宿営地内活動)に関しても副群長の統制下、より効果的な活動ができるようビジネス・モデルの見直しを実施せよ。

区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは、バグダッド及びモスルは、ラマディは
2 特記事項	
3 本日の業務	情報収集及び情報資料の送付等
4 明日の予定	情報収集及び連絡調整
5 その他(備考)	なし

バグダッド 日誌 (12月7日)
<p>○ Enjoy Your Meal !</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早いもので、我々が出国してから、6ヶ月余りが過ぎ、その任も終盤にさしかかった。ここでの生活にもすっかり慣れた。味はともかく、米軍の食事にも慣れ、カロリーコントロールもできるようになり、出国当時よりも体重も減った。これは、食べ物よりも、「食べ方」の効果が大きいと思う。 ・ 夕食は日本人5人で毎日会食しているが、昼食はできる限り各国のLO連と一緒に食べるようにしている。彼らと食事していると、同じものを食べても「豊かさ」や「ゆとり」のようなものを感じる。忙しくても、食堂で食事をする時は、ゆっくり食事を「楽しむ」のがほとんどの外国人達の習慣のようだ。食事の行き帰りに食堂で知り合いに会うと、Enjoy Your Meal ! と声を掛け合うが、まさに「楽しむ」事を言い表しているように思う。会話しながら概ね1時間位かけてゆっくりと食べる。 ・ 日本人だけで会食している夕食も、最近は1時間近くかけて一日の出来事をおもしろおかしく話しながら食べるようになったことも、我々がここでの生活に慣れたことの表れかと思う。 ・ 我々の帰国も近づいてきている。帰国するまでの間、帰国することを楽しみにしつつ、帰国してからの自分の生活を思う時、日本での生活を恋しく思う気持ちと、「食事の時間を楽しむ余裕」を惜しむ気持ちとが複雑に交錯するのだろうと思う。 <p>○ 元気がない時は……</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎朝知り合いはもちろんのこと、道で行き会う外国人達と挨拶を交わす。みんな朝から元気がいい。特に米軍は、必要以上に元気がよく挨拶してくれる。 ・ たまには「今日はなんか疲れたな。だるいな」と思うこともあるが、私の返事はいつも「I'm Fine !」と言うより、これ以外に知らない。米軍人達は「Good」とか「Excellent」、「Great」とか言う。「調子悪い」時って彼らにあるのか？と思うとともに、何て言うんだろうと思っていた。 ・ 毎朝のBUAの会議室にはいると、多くの軍人達と元気に挨拶をかわす。先日ある准将が「今朝の調子はどうだい？」とさわやかな笑顔で挨拶してくれた。私はいつもの返事とお礼を言っ「將軍は如何ですか？」といったもの挨拶。爽やかな笑顔をしながら彼から返ってきた答えは、「Dirty」だった。なんて反応してよいやらわからず、「お気の毒様」と答えておいた。 ・ さしずめ日本語で「サイアク〜」ってところかと思うが、真やかに言うところがおもしろいと思った。中にはいかにも調子悪そうな顔して「今日も調子いいよ。」というのもある。概して米軍はみんな調子がいい。 ・ 今朝のその准将は、「最高さ！」と手を振って答えた。思わず「おめでとうございませう。」と言ってしまった。

バスラLO日々業務報告(12月7日1900)	
区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空防 (警戒態勢):
2 特記事項	
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR(ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : (3) 定例会議への出席 : 司令部朝会議・夕会議、J2・J3・J9部隊統一会議 (4) 空路輸送調整
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議への出席 (3) 空路輸送調整 (4) EOD会議参加
5 その他(備考)	サマーワから帰隊

MND-SE管内の状況
[Redacted Content]

スミッティLO日々業務報告(12月7日)	
区分	内容
1 警戒態勢等	変化なし [Redacted] Threat Level [Redacted]
2 特記事項	特になし。
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマーワ市内及びビルメイサ市内等の治安情報の収集、昨日の日本隊と群衆との遭遇におけるTFMの評価・分析、サマーワにおける燃料不足問題、警察官雇用の採用発表に関して、部隊関連 (2) 各種業務調整等 豪軍支援要請関連(サマーワ〜タリル)、日豪共同訓練関連 (3) 各種ミーティング等
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	・ 明日の英・豪軍等の射撃 Range4 0800-1700 豪軍(小火器)

クウェート分遣班業務報告		17.12.7
全般		
<input type="checkbox"/> 国内情報等: [Redacted] <input type="checkbox"/> 人員・武器等異状なし <input type="checkbox"/> 人員報告: 所属人員24名、事故人員0名、現在員24名	<input type="checkbox"/> 天候: 晴れ、朝の内曇霧 <input type="checkbox"/> 気温: 7時: 15.4℃ 11時: 32.7℃ (直射日光下の最高気温: 33.2℃)	
本日の行動		
恒常業務・その他		
<input type="checkbox"/> サマーワ研修迎え <input type="checkbox"/> クウェート研修送り <input type="checkbox"/> 弾薬輸送(サマーワへ: LAM、小銃弾等、サマーワから: 拳銃弾等) <input type="checkbox"/> LAV空輸 <input type="checkbox"/> コマンドセル会議	<input type="checkbox"/> ACSA支払 <input type="checkbox"/> 糧食補給点後 <input type="checkbox"/> コンチナスキャナー積載	
明日の予定		
恒常業務・その他		
<input type="checkbox"/> CFLCC調整 <input type="checkbox"/> ナビスタ国境通過支援(糧食等: サマーワへ) <input type="checkbox"/> ナビスタ国境通過支援(送品: サマーワへ) <input type="checkbox"/> 分遣班記念品調整		
その他(教訓・要望事項等)		
特になし		

クウェートLO日々業務報告(12月7日1900)

区分	内 登	
警戒態勢等	警戒レベル [] 国内にテロ情報無し。重要施設、ホテルへの個別警戒強化指示 (1) 国家公安部、石油関連施設、大使館等重要防護施設防護部署及び国境警備隊等部署：警戒強化中 (2) 日本国外務省渡航安全情報（危険情報）：クウェート全土「十分注意」（N/C）	
待記事項	なし	
本日の業務	大 使 館	CFLCC
	<p>(1) 連絡調整等 ア 来訪者調整 国防省・タリフ・701 今年の犠牲者は、1月9～11日であり、モスリムは皆仕事はしない。メッカに巡礼に行くか、行けないものも家で犠牲者の儀式を行い、「アラーに自分の命さえ犠牲にする用意がある」ことを示す。 イ アントノフ問題 クウェート外務省機事部 [] 「今回、着陸許可を下ろさなかったのは、民間航空局の安全管理部が当該機を危険な航空機と認識し会社側へ安全上の承認を求めたのに対し何ら説明が無かったことによる原因がある。当該機については、安全が確認されない限り、今後も許可を下ろすことはない。」 ウ 無税通関証明書 1通 エ 天皇誕生日晩宴会 米軍招待者への招待状配布</p>	<p>(1) 連絡調整等 [] 天皇誕生日晩宴会出席者調整 (2) 情報収集 待記事項無し (2) 情報収集 ア 『小泉総理の中東訪問』 事情が許せば、明年1月上旬にイスラエル、パレスチナ自治区及びトルコを訪問する予定 イ 『ドバイ治安情報』 ドバイ警察は11月に「労働権擁護大綱」を推進した結果賃金不払いに関する17688件の苦情を解決。 ウ 新聞 待記事項無し</p>
明日の予定	<p>(1) 連絡調整等 来訪者調整 (2) 情報収集 新聞等</p>	<p>(1) 連絡調整等 (2) 情報収集</p>
その他	なし	